

第七次甲府市総合計画説明会 会議録（国母地区）

日 時	令和8年5月25日（月）午後7時00分～午後8時00分
会 場	国母小学校体育館
参 加 者	82名（市長等及び関係職員含む）
次 第	1 市長説明 2 意見交換 3 地区からの挨拶
意見交換記録	
質問	<p>・甲府市地方卸売市場の運営や周辺商店の在り方について</p> <p>国母地区の一等地である国母6丁目には「甲府市地方卸売市場」とその周辺には市場に関わりのある商店や倉庫があるが、年々市場の流通も右肩下がりとなっているようで、商店や倉庫もシャッターが閉まっているのが目につく。今後の甲府市地方卸売市場の運営や周辺商店の在り方について何か計画があれば聞かせてほしい。</p>
樋口市長	<p>本市場は、昭和48年に開設して以降、青果及び水産物を消費者の皆様へ安全かつ安定的に供給する拠点として重要な役割を果たしてきたが、近年の人口減少等による消費量の減少や、流通経路の多様化による市場外流通の増加に伴う本市場経由率の低下などにより、令和7年度の取扱金額は、平成3年度のピーク時に比べ約半減しており、また市場開場から50年以上が経過し、施設の老朽化も進んでいる中、市民の皆様へ安全・安心な生鮮食料品の安定的な供給を継続し、食のインフラとなることが、本市場の最大の役割だと認識している。</p> <p>こうしたことから、「甲府市地方卸売市場経営戦略」に基づき、健全かつ安定した市場運営に意を注ぐとともに、本市場の機能維持と施設の長寿命化を図るため、「甲府市地方卸売市場整備計画」を策定し、計画的に施設の維持補修整備に努めており、また、市場を身近に感じてもらい、そして賑わいを創出するため「さかなっば市」等を開催し、市場の活性化にも取り組んでいる。</p> <p>今後、リニア開業など、社会経済情勢の変化も捉えながら、県内唯一の公設市場として流通の基幹的インフラの役割を担い、消費者の皆様へ生鮮食料品を安全に、また、安定した供給</p>

<p>質問</p>	<p>が継続できるよう市場運営に努めることで、周辺エリアにも波及していけるよう取り組んでいく。</p> <p>・「城東三丁目敷島線整備事業」の今後について  現在「伊勢工区」を整備中と聞いている。本線は国母地区の中心を通り、災害時には国母小学校・南西公民館の避難所に必要な災害用物資を運ぶ生命路線となる。  そこで質問するが、今後の新平和橋西側「国母工区」の整備日程や予想される工事における問題点（既存道路の渋滞等）があれば教えていただきたい。</p>
<p>まちづくり部長</p>	<p>都市計画道路は、本市を含む甲府都市計画区域の骨格となる幹線道路であり、甲府盆地をはじめ、県内経済を支える重要な役割を担うとともに、市民の皆様の日常生活の活動基盤となる都市施設である。</p> <p>本市では、効果的・効率的な都市計画道路の整備推進を図るため、優先整備路線6路線7工区を位置付けた「都市計画道路整備プログラム」を策定し、現在、城東三丁目敷島線（伊勢工区）をはじめ上位3路線を事業化し、整備を進めている。</p> <p>ご質問の城東三丁目敷島線（国母工区）は、優先整備路線に位置付けており、事業化については、現在進めている整備路線の進捗を踏まえ、検討していく。事業化には地域の理解が重要であるため、事業化の際には、交通制限や騒音等を含め、工事内容等の説明を丁寧に行うので、ご理解とご協力を賜りたい。</p>
<p>意見</p>	<p>一つ要望をしたい。工事の進め方としては、新平和橋から城東、敷島の方に延伸していくと思うが、新平和橋からツルハドラッグのところまでは、課題が多いため、時間を要すると思う。ただ、ツルハドラッグ付近は用地が確保できているようなので、そのあたりを優先的に進めてほしい。特に国母通りから昭和通りにかけては道路が狭く、事故多発地帯もあるため、その中でも優先的に実施するよう検討をお願いしたい。</p>
<p>質問</p>	<p>・リニア駅整備における関連要望について  現在、リニア駅前について整備計画中で、リニア駅から甲府駅までを専用バス路線で結ぶと聞いている。国母地区住民のリ</p>

	<p>ニア新幹線利用の便宜を図るため、国道358号（新平和通り）に中間停留所として「新平和橋東（仮称）」を設置していただきたく、甲府市・山梨県に要望する。</p>
<p>リニア交通政策監</p>	<p>リニア駅から甲府駅間へのアクセスについては、現在、山梨県において、国道358号をルートとしたシャトルバスによる接続に向けて、遠光寺北交差点付近の道路改良工事が進められている。一方、一昨年末に山梨県より「富士 ترام 構想」が公表され、新たな公共交通網における基幹路線の整備に向けた調査・検討が進められていることから、今後、こうした検討結果を踏まえる中で、山梨県や関係機関、交通事業者と緊密に連携を図りながら、リニア駅から目的地に至るまでの移動時間が最短となる「速達性」や、確実な出発・到着時刻となる「定時性」、それから利用する皆様の「利便性」など、最適な交通ネットワークの検討を進めてまいりたい。</p> <p>ご要望の国道358号における中間停留所の設置についても、こうした検討過程において関係機関と共有していく。</p>
<p>質問</p>	<p>・南西公民館の利便性について</p> <p>南西公民館にはエレベーターがなく、高齢者にとっては2階へ上がるのが大変である。エレベーターを設置するなど何らかの配慮をいただきたい。</p>
<p>企画部長</p>	<p>現在甲府市においては、公共施設の再配置の観点で、必要に応じて建床面積の削減や規模の縮小という計画を推進している。公民館も検討対象の一つになっているが、現時点で南西公民館をどうしていくのか具体的な検討はできていないため、今後検討を進めるうえで、その点、検討してまいりたい。</p>
<p>質問</p>	<p>・デマンドタクシーについて</p> <p>デマンドタクシーについて。国母地区にはバス路線が比較的多くあるから対象外となっているが、あまり時間通りにバスが来ないなどの課題がある。</p>
<p>リニア交通政策監</p>	<p>デマンドタクシーは、免許返納が増加する70歳以上の高齢者を対象に、路線バスの停留所や駅が一定範囲にない公共交通</p>

<p>樋口市長 (まとめ)</p>	<p>空白エリアにおいて、既存の公共交通では補えない地域をカバーする目的で実証事業を行っている。国母地区にはバスが5路線あるが、なかなかバスが来ないという課題があると伺ったところである。</p> <p>市は、全域において、個人のニーズに合わせたオリジナルの時刻表を作成する事業や、路線バスの待合環境の充実など、地域公共交通を利用しやすい環境づくりに取り組んでいるため、公共交通に関する相談があれば交通政策課に相談していただきたい。</p> <p>本日は貴重な時間をいただき、感謝申し上げます。</p> <p>多くの市民の協力により策定された第七次甲府市総合計画に基づき、まちが絶えず発展し、甲府に関わり合う全ての方が幸せを感じられるよう、利便性の向上や、子どもたちの育ちを市民全体で支えるまちづくりをさらに推進していく。</p> <p>いただいた質問や要望についてはしっかりと受け止め、実現可能な点は速やかに対応し、困難な点については、その理由や解決策について地域住民と共有し、検討を進めていく。</p> <p>デマンドタクシーについては、相川・大里地区で開始され、現時点で効果が出たということはないが、継続して取り組む方針である。今年度も実証事業として実施するが、本格事業化への要望があることも認識している。地域に交通対策協議会を設置するなど、幾つか段階を踏む必要があるため、既存路線がある場合でも、デマンドタクシーの利用については地域住民と十分に協議し、交通政策担当部署と連携して検討を進めていくので、引き続き協議をお願いする。</p> <p>本日も30度を超え、今年も猛暑が予想される中、今年度から学校体育館にエアコンを設置していく。これらは、快適な学習環境の提供だけでなく、災害時に避難所となる学校体育館の良好な環境確保にも資するものであり、協力をお願いする。</p>
<p>地区からの挨拶要旨</p>	
<p>国母地区自治会連合会会長</p>	<p>本日は甲府市の今後10年の指針となる重要な計画について市長自ら説明いただき、感謝申し上げます。この意見交換の場も、国母地区の思いを伝えるいい機会であったと思う。</p> <p>国母八丁目にある「姫見塚」が甲府遺産に認定されたが、今</p>

後、地区内の業者に頼んで石碑の建立を検討している。国母地区のシビックプライドではないけれど、こんないいまちであるということを再認識して、明るいまち、楽しいまち、安全なまちを築いていきたい。

国母地区、そして甲府市をよりよいまちにするためには、地区の活動と行政の取組の相乗効果が発揮されることが重要だと考えており、今後とも様々な活動に取り組んでいきたいと考えているため、引き続きよろしく願います。